

環境への取組みと 社会との共生



神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。環境経営委員会を設け、グループ全体で環境経営に取り組んでいます。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践による企業価値向上』
—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループを目指して

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、環境力を高め企業価値を向上させる。

■環境マネジメントシステムの構築

神戸製鋼グループは、継続的かつ効果的に法令遵守および環境改善への取組みを推進するために、環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格「ISO14001」、環境省の「エコアクション21(EA21)」、こうべ環境フォーラムの「神戸環境マネジメントシステム(KEMS)」などの認証取得を奨励しています。

2009年度上期については、グループ会社3社が認証を取得し、重要な事業所として残すところ1事業所が、認証に向けて継続して取り組んでいます。なお、当社全事業所(11事業所)については環境マネジメントシステムの認証取得が完了しており、グループ会社についても合計48社が認証を取得しています。

■薄板全製品のクロメートフリー化で 環境賞を受賞

第36回「環境賞」(日立環境財団・日刊工業新聞社主催、環境省後援)の優良賞に、当社の「薄板全製品のクロメートフリー化」が選ばれ、6月10日に表彰式が開催されました。同賞は、循環型社会の構築に資することを目的として1974年に創設され、環境保全に寄与する科学技術の調査、開発、研究などにおける具体的な成果に与えられる、国内の環境関連ではもっとも歴史のある表彰です。

従来から、鋼板の表面には耐食性の向上のために、亜鉛めっきが施され、さらにその上に特定化学物質である六価クロムを含むクロメート処理が施されてきました。近年、多くの産業分野において環境負荷物質使用の削減活動が進められ、鋼板についても六価クロムの不使用・非含有を意味するクロメートフリーが求められています。当社では、その要求にいち早く対応するため、クロメート処理の全廃を目標に、独自の薄膜皮膜処理技術で代替技術の研究開発を進め、1998年に業界初のクロメートフリー電気亜鉛めっき鋼板「コーベジंकGX処理」を商品化しました。その後も表面処理技術の開発を進めた結果、2008年2月には薄板全製品についてクロメートフリー化を達成しました。

この度は、この環境技術による環境負荷の低減効果とその実績が高く評価され、今回の受賞となりました。



表彰式の様子

社会貢献への取り組み

神戸製鋼グループでは、社会の一員として、地域住民の皆様との交流活動、地域社会への貢献活動に継続的に取り組んでいます。

四川大地震 被災小学校の再建が完了。 落成式を行ないました。

当社グループのコベルコ建機、コベルコ建機の中国合併会社である成都神鋼工程機械(集団)、成都神鋼建設機械の3社は、昨年5月12日の四川大地震後、被災地の中心に位置する唯一の建設機械メーカーとして、建設機械の寄贈などの支援のほか、震災で倒壊した小学校の再建復興計画に参画していましたが、このたび無事に、9月1日に再建した小学校の始業式を迎え、9月22日には落成式を終えることが出来ました。

再建した小学校は、マグニチュード8の地震にも耐えうる耐震構造をもった4階建ての校舎と3階建ての職員室、3階建ての学生寮からなり、当社グループでは校舎の再建以外にも机、椅子な

どの備品購入もお手伝いいたしました。新しい小学校には、800名の児童たちが通うこととなります。

小学校の名前は「彭州(べんぞう)市麗春鎮慶興神鋼小学校」といい、今回小学校を寄贈した当社グループを代表する形で「神鋼」の文言がつけられました。

当社グループでは、今後も末永く同小学校と交流を続けてまいります。



彭州(べんぞう)市麗春鎮
慶興神鋼小学校

ラグビーを通じての活動

「KOBELCOカップ2009」を開催

日本のラグビー普及を目指して、当社グループが特別協賛する「KOBELCOカップ2009第5回全国高校合同チームラグビー大会」が7月27日～30日に長野県・菅平高原サニアパークで開催されました。この大会は、全国9ブロックから選抜された17歳以下の代表選手による高いレベルの試合を通して、ラグビー競技に必要な基礎体力・技術・知識等、選手の資質向上を図ること、そして部員不足の学校の18歳以下の選手による選抜チームを構成してラグビーの普及を図ることを主な目的とし、毎年夏に開催しており、今回で5回目となります。

この大会には、当社の神戸製鋼コベルコスティーラーズの現役選手も各ブロック担当の選手指導という形で参加しています。

本年7月には、ラグビーワールドカップ2019の日本開催が決

定、また、10月には2016年に開催予定の夏季五輪の新たな種目として7人制ラグビーが採用されることが決定しました。当社グループは今後も、高校生選手たちの育成、強化、競技人口の増加、スポーツを通じた健全な人材の育成に協力するとともに、ラグビーファンの拡大とラグビーの普及活動に努めることで、オリンピックやワールドカップ開催を盛り上げてまいりたいと考えています。



KOBELCOカップ2009